

進栄化工株式会社

第 41 期 環境経営レポート

(対象期間:2020年9月1日~2021年8月31日)

進

作成日：2021年10月1日

□ごあいさつ

進栄化工は日常生活で必ず目にする製品を、特殊粘着フィルム・紙粘着製品を使用して製造している会社です。製造業を営む企業として、環境負荷を最小化にする事に努め、人と人との出会いの尊さ、地球に優しい環境配慮、活動を続けて行きます。

進栄化工株式会社
代表取締役 竹内 祐樹

環境経営方針

環境保護への取り組みを経営の最重要課題の一つと位置づけ推進し、本業である製造業を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

1. 基本理念のもと、省資源・省エネルギー及び廃棄物の削減・有効活用を推進し環境関連法規制を遵守します。
2. 従来からの省エネ活動に取り組み、電力・ガソリン等のエネルギー使用量を減らし二酸化炭素排出量を削減します。
3. 製造過程での廃棄物をRPF(固形燃料)にし、製造過程で排出されたフィルム・紙を包装紙等に再生利用して廃棄物の削減に努めます。
4. 水の使用量の削減に取り組みます。
5. 化学物質の適正管理に努めます。
6. グリーン購入やグリーン調達に基づき、出来る限り基準を満たす製品を調達するとともに、その他の物品についても、可能な限り環境に配慮した製品を購入し推進します。
7. 環境に配慮した製品づくりに努めます。

制定日：2013年4月16日
改訂日：2019年4月24日

代表取締役社長 竹内祐樹

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

進栄化工株式会社
代表取締役 竹内 祐樹

(2) 所在地

本社 大阪府大阪市鶴見区今津南2丁目3番27号
鶴見工場 大阪府大阪市鶴見区今津南2丁目3番29号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 工場長代理 渡邊 祥邦 TEL : 06-6969-0360

(4) 事業内容

特殊印刷用資材販売・加工製造

主要製品:

(5) 事業の規模

製品出荷額 10.1 億円

	本社ビル	鶴見工場	合計
従業員(2021/8/31)人	16	26	42
延べ床面積 m ²	1,500	1,700	3,200

(6) 事業年度

9月～8月

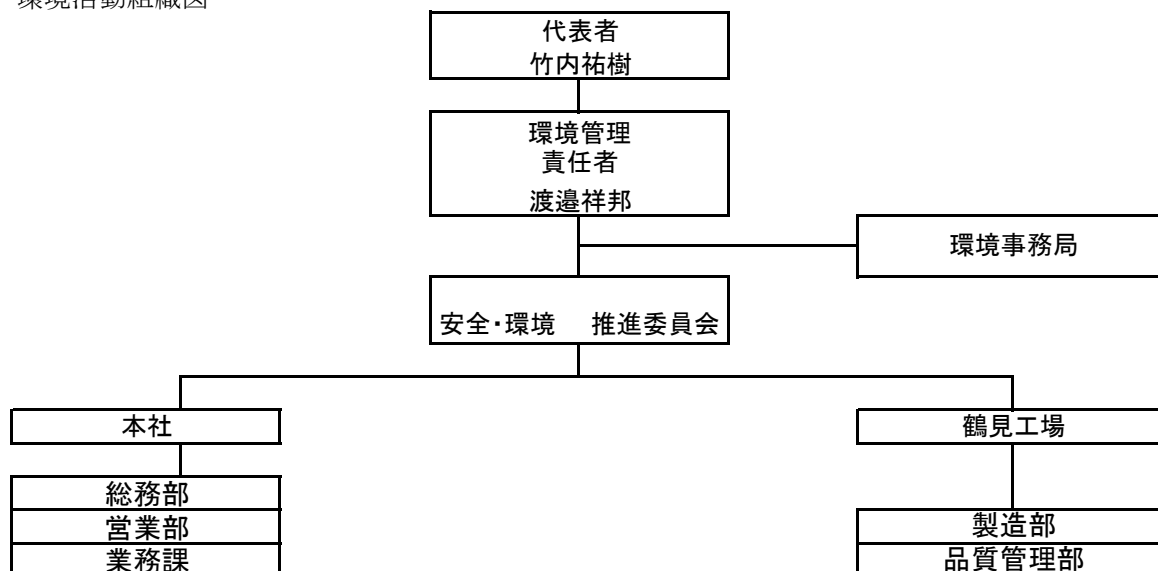
□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名： 進栄化工株式会社

対象事業所： 本社
鶴見工場

活動：特殊印刷用資材販売・加工製造

環境活動組織図



□主な環境負荷の実績

項目	単位	37期	38期	39期	40期	41期
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	98,398	100,197	97,295	115,374	149,968
産業廃棄物排出量	kg	66,130	78,270	70,940	69,520	75,250
水の使用量	m ³	434	430	443	397	253

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.522 kg-CO₂/kWh(2013年度関西電力の実排出係数)

※二酸化炭素排出量に都市ガスの使用量を含む

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 第32期 (基準度)	41期		第42期	第43期
			2020.9~2021.8		2021.9~2022.8	2022.9~2023.8
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力によるCO ₂ 削減	kg-CO ₂	85,842	111,594	108,654	110,736	109,878
	基準年比	第32期	130%	127%	129%	128%
自動車燃料によるCO ₂ 削減	kg-CO ₂	57,201	52,053	41,264	51,481	50,909
	基準年比	第32期	91%	72%	90%	89%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	143,043	163,647	149,918	162,217	160,787
産業廃棄物の削減	kg	88,900	80,899	75,250	80,010	79,121
	基準年比	第32期	91%	85%	90%	89%
水道水の削減	m ³	503	458	253	453	448
	基準年比	第32期	91%	50%	90%	89%
資材のグリーン調達促進	円	2,096,652	2,474,049	2,054,516	2,515,982	2,557,915
		第32期	118%	98%	120%	122%
事務用品グリーン購入の推進	%		48%	43%	49%	50%

□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
電力によるCO2削減			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	◎	継続	・新本社社屋増築のため、電力を特に使用する「エレベーター2基、クリーンルーム空調設備」が新たに増えている。その見合いを基準年度比30%アップとして目標を立てたが、省エネ節電対策が功を奏し目標内に収まった。空調の個別設定や温度設定の見直しで次年度の活動につなげ目標を継続してクリアしていきたい。
・不要照明の消灯（人感センサー照明設置）	◎	継続	
・生産工程の待機時間短縮（工場レイアウト変更）	○	継続	
自動車燃料によるCO2削減			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
・アイドリングストップ	◎	継続	・営業車両が1台増加しているが年間を通じて全車両で効率配送、エコドライブの効果が継続している。基準年より30%近い大幅な削減となっている。近々のガソリン価格の高騰もあり、全員が意識をしてガソリン消費量を削減する取り組みを今後も継続していく。
・効率的なルートで配送	◎	継続	
・エリア別営業活動の見直し	◎	継続	
産業廃棄物の削減			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
・分別の徹底	◎	継続	・新規案件の受注が増加し、販売に比例して材料の加工、製品加工共に大幅に増加したが、廃棄材料の二次利用など、再利用を模索し廃棄物の削減に努めた。目標値を15%上回る結果を残せた。
・木パレット再利用・引き取り	◎	継続	
・段ボール・紙管・プラコア・リサイクル	◎	継続	
・梱包材の再利用	◎	継続	
資材のグリーン調達促進			
数値目標	△	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
・環境配慮製品の販売促進	△	継続	・資材のグリーン購入比率を意識し、得意先にも働きかけるが目標に届かなかった。 ・来期より新たにグリーン材料を導入して比率を高めるよう、引き続き、意図を粘り強く訴え推進していく。
・エマルジョン製品への切り替え	△	継続	
・代替製品への検討	△	継続	
水道水の削減			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
・節水シールの貼り付けとポスター掲	◎	継続	・昨年に引き続き、水道水の節水の意識が定着している。節水コマなどの使用も継続して実施する。
・節水弁取り付け	◎	継続	
事務用品グリーン購入の推進			
数値目標	×	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
・有害性の少ない資材の購入	○	継続	・グリーン購入比率を意識しているが月ごとにばらつきが生じてしまった。常にグリーン購入比率50%を目標に、継続して購入商品を選定していく。
・省エネ性能の高い電気製品の購入	○	継続	
・事務用品グリーン購入比率向上	◎	継続	
化学物質の適正管理			
・適正に管理が出来ているか	◎	継続	化学物質に関しては鍵付きの管理棚で管理し、使用時には担当者・持出数量の明記を徹底しています。
・最小限の使用で抑えているか	◎	継続	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（プラスチック・紙・金属・廃プラ）	○
騒音・振動規制法	空圧機、プレス機	○
消防法（危険物）	シンナー等の保管	○
フロン排出抑制法	業務用空調機	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

日本社会もSDGsの言葉が浸透した1年であったと感じます。当社も先駆けて取り組み、その筆頭に「エネルギーの効率化や省エネ対策に取り組む」ことを宣言しています。また、「つくる責任、つかう責任」として資源のリサイクルやリユースを徹底して取り組むことも合わせて宣言し、活動してきました。エコアクション21の取り組みがSDGsの活動に全て直結して成果を上げていることは、大いに評価されます。

□環境活動の紹介



弊社は20年以上前に旧本社屋上に太陽光パネルを設置。二酸化炭素排出量の削減に努めています。

鶴見工場屋上にも太陽光発電設置しました。

RPF (Refuse Paper & Plastic Fuel) 固形燃料

産業廃棄物処理が必要な廃プラスチックの有効的なリサイクルとして、当社では固形燃料化（RPF化）に取り組んでいます。事業活動で排出された廃プラスチック・紙を加工して、石炭など化石燃料の代替となる固形燃料（RPF）を製造。それらは熱エネルギーを要する製紙産業、鉄鋼産業などに廃棄燃料として利用されます。資源のリサイクルとして、製造する側も利用する側も社会への大きな貢献につながるRPFがこういった物が写真で確認下さい。



RPF固形燃料を作成する為、産業廃棄物を塩化ビニール素材とその他産業廃棄物に分別しています。



弊社で排出された廃プラスチック・紙の産業廃棄物の約95%がリサイクルされています。

RPF固形燃

～ 社内5Sチェック活動 ～

進栄化工(株)は、本社・鶴見工場 毎月最低1回、5S担当者を振り分けて作業場を見回り、5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)が継続して行われているか確認し、毎月5Sに対する改善を行っています。



～ 鶴見工場 ～

～ 本社 ～

5S活動により、職場環境の美化やモラル向上だけではなく、不具合流出の未然防止・安全性向上など様々な効果を上げ、より効率UPへ繋げています。

～ 新入社員 環境経営教育 ～



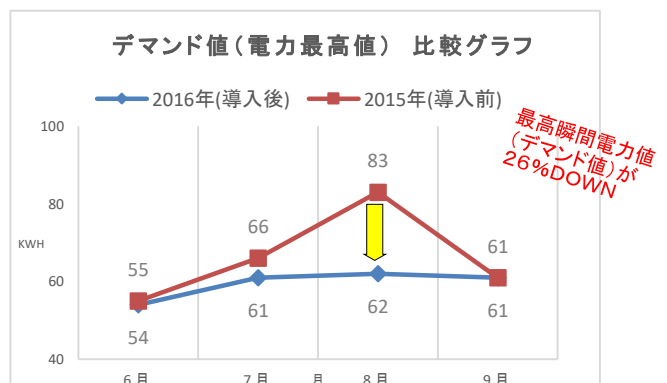
新入社員は入社時に自社の環境経営について研修を受けます。

エアコンの設定温度による電力削減、ユニセフ募金活動による社会貢献活動や、産業廃棄物のリサイクル活動を学び、実際にRPF固形燃料を手に取り確認する事で環境経営に対する関心を持つ事を目的としています。

～ デマンドコントロール機設置 ～



年間の電力料金算出の為に使われるデマンド値削減の為に、2016年4月にデマンドコントロール機を導入しました。導入前と導入後の1年間を比較しますと、年間使用量は10,437kWh削減し、効果は大きく反映されています。



環境省発行 “エコアクション21で「わ」を創ろう” に進栄化工が掲載されました！

2016年3月に環境省発行の”エコアクション21で「わ」を創ろう”に、進栄化工が掲載されました。大阪信用金庫様との環境コラボレーション活動を主に紹介させて頂いています。


大阪信用金庫様より「エコアクション21スクール」セミナーを開催して頂き、参加させて頂いたのが認証取得のきっかけでした。エコアクション21取得後の大阪信用金庫様との環境活動について記載しております。

大阪信用金庫様 × 進栄化工株式会社




BS放映 省エネの達人『企業編』に テレビ出演しました！

2 省エネに向けた協力体制の強化



現在は互いに作業状況を確認。ひとつの作業を協力して行うことでプレス機の稼働台数を抑えるだけでなく作業効率の向上にもつながりました。他の部署でもプレス機を使っている場合は、機械の稼働時間が重ならないよう調整しています。

3 休憩時間のコミュニケーションがきっかけ



こうした省エネの秘訣はコミュニケーション。浜口調査員が昼休みに休憩所を訪れると…みんな一堂に会して昼食を食べてます。気軽に話し合える場を設け情報共有することで、スタッフの連携や省エネ意識の向上につなげているのです。

2017年3月29日にBS放映、日本テクノ(株)様主催の、省エネ情報番組”省エネの達人『企業編』に進栄化工(株)を取り上げて頂きました。

出演のきっかけは日本テクノ(株)様よりご紹介頂きましたデマンドコントロール機の設置により1年間で83kWhから62kWhへ**デマンド値26%の削減**を成功し、電力料金は約6%減少。省エネの達人『企業編』では、タレントの浜口順子さんと、自社で行っている環境活動について紹介させて頂きました。

衛生管理機器販売の環境事業部を設立

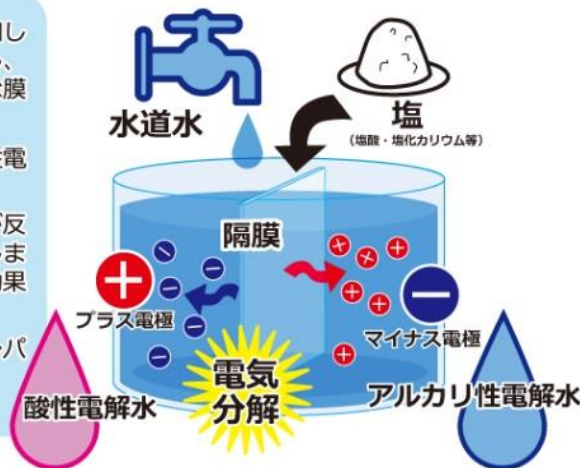
水道水に微量の塩を添付し、電気分解して生成される”電解水”を販売する環境事業部を設立しました。薬品・薬剤を使用せずに洗浄・除菌・脱臭効果がある為、環境に優しい衛生管理機器を販売しています。

水道水に微量の塩を添加して電解槽にて電気分解し、発生したイオンを特殊な膜を使用して分離。

酸性電解水とアルカリ性電解水を生成します。

酸性電解水は塩素と水が反応し次亜塩素酸を生成します。除菌、脱臭、漂白効果があります。

アルカリ性電解水はタンパク質や脂質を分解する洗浄効果があります。



～ 取り扱っている衛生管理機器の一部紹介 ～

【除菌電解水給水器 @手洗い】

高い除菌効果と洗浄効果をもつ酸性電解水を生成。安全性も高いので食品関係・施設関係など幅広く活用されています。



【アクア・ファインプレミアム酸性】

水と塩を電気分解して生成された酸性電解水に、ナノメートルサイズの泡「ファインバブル」を入れ「ファインバブル酸性電解水」を生成します。弱酸性電解水のため、従来の電解水より強力な衛生管理ツールです。

【ファインアクア】

非常に微細な気泡”ファインバブル”を液中で発生させる装置です。”ファインバブル”は、浮力の影響を極めて受けにくく、水中に長期間溶存することができます。



環境に配慮した会社づくりを目指し、

進栄化工は今後も社員全員で様々な環境活動に取り組んでいきます